

交換留学(派遣) 近況報告書

留学先での生活はいかがですか。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの近況等を把握するための資料です。何か困ったこと等があれば、本報告書に限らず速やかに教務係までご連絡ください。
② 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は写真データと共に提出してください。(提出締切日12/6)



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ノルウェー経済大(NHH)
留学先での所属学部・研究科:	
留学先での在籍身分:	学部交換留学生
留学期間:	10カ月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
本報告書記入日:	12月8日

1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	この留学プログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	神戸大学のホームページ
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に4つまで選んで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	1
	語学力の向上	2
	プログラムの時期がちょうど良い	3
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	4
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	
家族のバックグラウンドと関係がある		
異文化を体験したい		
その他(具体的に記入)		
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	申請関連はノルウェーに留学に行った日本人学生のブログなどを参考にしました。現地生活や移動に関しては、ノルウェーに在住されていた卒業生の方からも詳しく教えてもらいました。
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	学業ビザ
	申請先:	UDI
	必要日数:	約1カ月
	VISA取得にかかった費用:	約10万円
	VISA申請のために求められた書類:	オンライン申請完了後に発行される書類、パスポート
	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	東京にあるビザ申請センターでの書類提出のために来館予約を取る必要がありました。また、パスポートは原本での提出が求められるのでしばらくの間パスポートが手元からなくなります。
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	特になし。
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。 また、現地で加入した保険があれば記入ください。	神戸大学の学研災、OSSMA plus
1-8	その他に必要なだった手続き、方法、料金等	特になし。

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	カタール航空
	到着空港名:	ベルゲン空港
	空港到着時間:	午前11時頃
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	23時間、16万円
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	ベルゲン到着後に寮の鍵を受け取る必要があり、受け取り場所が分かりにくいいため事前に道順を調べておくのがよいと思います。(到着直後はwifiが確保できずに調べられなかったため)
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Hatleberg Studentboliger
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	リストから選択してください
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	大学までの通学時間・手段:	徒歩で約5分
	住居の周りの環境はどうか。	全体的に落ち着いた雰囲気、治安も日本とほぼ同レベルです。交通の便も比較的良好、キャンパスの目の前にバス停があります。徒歩圏内にスーパーがいくつかあるほか、バスに乗ればベルゲン中心街まで10-15分ほどで移動できます。
	毎日の食事はどうしていますか。	基本的には寮のキッチン(共有)で自炊
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航の約3カ月前に学生寮の申請が承認されました。申請前後でのトラブルもありませんでした。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	任意
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	大学生活について、ノルウェーまたはNHHIに関するイベントやコミュニティについての説明
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	在留カードの申請
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	大学経由の案内に従い、指定の警察署を訪問して在留カードの申請をする必要がありました。在留カードは申請から2週間ほどで受け取れました。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	特になし。

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	参加なし。

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発後
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	
	希望通りの授業が履修できましたか。	はい
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	クリックで別シートへ
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	クリックで別シートへ

5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

ノルウェーでの留学も4カ月目を迎え、8月からの秋学期もついに終了しました。ここで、これまでの学業面と生活面それぞれの所感をまとめておきたいと思います。

まず、学校生活については、NHHがビジネススクールであることから経営・経済系の授業が充実しており、この学校を選んでよかったと実感しています。日本の大学ではあまり見ない、環境・エネルギー問題に関連したビジネスやファイナンスの講義なども多く提供されています。学生もそれらの問題に対して単なる興味以上に解決意識が強く、同年代でありながら大きな意識の違いがあることに驚きました。授業の活動においては、たいてい聴講形式ですが、グループワークが含まれることが多い点も特徴の一つだと思います。ただグループワークといっても、授業や課題に共同で取り組むというよりは、課題の大半は各々で進めて必要な時のみグループで活動する形が多く、イメージと違った部分もありました。このように、授業や課題の取り組み方において、学校と学生ともに合理性や自主性を重視しているように感じます。

生活環境としては、ベルゲンは住みやすい街だと感じています。全体的にコンパクトな街で、治安が良く清潔感もあります。ノルウェーの人々は、優しい人が多いですがシャイな気質や独特の距離感ゆえに、日本人にどこか似ている側面があります。そのため、街中で過ごしていき大きなカルチャーショックを受けることは当初から少なかったように思います。また、ノルウェー人は基本的に英語が堪能なので、英語でのコミュニケーションはどこでも取りやすいです。ただ、他のヨーロッパ出身の人々よりも内向的な人が多く、友達にはなりにくいように感じます。その代わり、お酒が入ると人格が変わったように陽気になる人が多いので若干戸惑いました。

気候の面でも、ノルウェーは厳しい気候のイメージがありましたが、ベルゲンは思っていたより過ごしやすいです。夏は短期間ではあるものの、冷涼で晴れた日が多いので快適でした。冬は12月現在で気温が氷点下の日もありますが、雪は比較的少なく、耐えられる寒さが続いている状態です。どちらかという、むしろ気候よりも日照時間の変化の影響が大きいかもしれません。夏は午後10時頃まで明るいのにに対して、冬では午後3時頃には暗くなり始めるため、日本にいた時よりも起床や就寝などの生活リズムが変わりやすくなっている気がします。

日常生活に関しては、やはり物価の高さに苦労することが多いです。円高であったことをふまえても、元々の物価が高いため、買い物をすると日本の1.5～2倍ほどの値段を払わざるを得ません。税率の関係上、外食や酒類に至っては3倍以上することがあるので、日本のように気軽に食事や飲みに行くことが難しく、退屈に感じることもありました。しかし、ノルウェーには森や山が多いのでハイキングや散歩などを楽しめる場は多く、ジムなどのスポーツ施設も安く提供されているため、体を動かす機会は増えたように感じています。そのため、これからも日本にいた頃とはまた違った時間の過ごし方を見つけていきたいと思っています。

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Financial Economcs	Tommy Stamland	105分×2	7.5	英語	いずれも不明	成績はterm paperで評価される。指定されたトピックを議論するか、problem setsを解くかのいずれかから選べる。個人・グループワークの選択も可能。主な内容は基礎的なファイナンスで、神大のコーポレートファイナンスやそれに近い科目を受けているとおそらく有利。範囲は広めであるものの解説・スライドともに分かりやすい。
2	Managing Strategic Change	Birthe Kåfjord Lange	165分	7.5	英語		成績は期末試験で評価される。試験は4時間のHome exam形式。主な内容は企業における組織変革など。教授がインタラクティブな授業を重視しており、どんな意見でも肯定的に認めてくれる。ただ、理論的な解説よりも抽象的な内容が多すぎるがゆえに、何をしているのか最後までよく分からなかった。
3	Investments	Francisco Santos	105分×2	7.5	英語		院生向けの講義(学部生でも最大2つまで履修可)。成績は期末試験で評価される。課題であるProblem setsで平均未満の評価を取ると期末試験には進めない。試験は4時間の対面試験。主な内容はポートフォリオ理論や金融商品など。Excelでのポートフォリオ分析なども含めた幅広い分野が網羅されており、信じられないスピードで講義が進む。
4							
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

キャンパス全体にオンラインに対応した設備が整っており、レコーディングのある授業が多い。出欠を取らない授業がいくつもあるため、教室に来る人が徐々に減っていくことがある。科目や出席評価にもよるが、クラスのサイズ自体は神大の専門科目とあまり大差はないように感じる。成績評価は期末試験もしくは期末のレポートなどでの評価が多い。講義期間中に出される課題はあくまで期末試験の受験資格とされて、課題で低い評価を取ると試験そのものが受験できない場合もある。学生の取り組み方については、授業中に自ら発言する人は少ないものの、質問を振られたときにしっかりと答える人が多い。

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00		講義					
10:00	講義					買い物	
11:00							
12:00			友人とハイキング				
13:00							友人と料理
14:00		講義		講義	講義		
15:00							
16:00	グループワーク					グループワーク	
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							